

<b>タイトル</b>	平成 29 年度一般入試(前期日程)、私費外国人留学生入試 教育学部 (教育人間科学系) 小論文
<b>評価の ポイント</b>	<p>教育人間科学系では、特定の教科に限られない幅広い理解力・判断力・問題解決能力・表現力等を評価するために、小論文試験を実施している。</p> <p>問題 1 は、「対話」と「対論」の違いを説明することから始まって本当のコミュニケーション能力とは何かを考える文章を読んで、文章のキーワードとなる①「対話の重要性」と「対話の基礎体力の必要性」について本文の表現を用いて説明し、②「対話の基礎体力を育むための経験」はどのような経験であるかについて、自身のこれまでの経験をもとに具体的に論述する問題である。①については、文章の趣旨や表現を踏まえたうえで適切に説明されていること、②については、これまでの自身の経験をもとに考えを具体的かつ説得力のある表現で記述していること、これら 2 つの観点から評価した。</p> <p>問題 2 は、中学生の生活習慣と家庭での勉強時間に関する統計データから、読み取れる主な結果をまとめたうえで、なぜそのような結果が読み取れるのかを論述させる問題である。採点に関しては、①データからわかること(例:生活習慣の習得度と調査年の間に交互作用が見られること、生活習慣の習得度合いの主効果、など)が述べられていること、②これらの結果について妥当な考察を行っていること、これら 2 つの観点から評価した。</p>